

令和3年度事業報告

社会福祉法人
小山市社会福祉協議会

目次

1. 地域福祉の意識づくり・ひとづくり

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう

- (1) 広報活動事業 **強化** 1
- (2) 共に生きるまちづくりフォーラム
～第7回小山市社会福祉大会～の開催 1
- (3) 第7回「ふくし」の標語コンクールの開催 1
- (4) 市民リフレッシュ講座事業 1

1-2. 福祉の心を育もう

- (1) 福祉用具貸出しと福祉教育講師派遣 2
- (2) 福祉教育協力校補助事業 2
- (3) サマーボランティアスクール事業 2

1-3. 地域福祉活動を実践しよう

- (1) ボランティア養成講座事業 3
- (2) おやまお助け隊(個人ボランティア)、ボランティアサークルの状況 **強化** 3
- (3) 社協ボランティアセンターの運営 3

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう

- (1) 地区社会福祉協議会の設立・活動支援 **強化** 4
- (2) 生活支援体制整備事業 **強化** (市受託) 6

2-2. 地域のつながり・交流の場を広げよう

- (1) おもちゃ図書館の開館 7
- (2) 児童遊び場整備事業 7
- (3) シニアライフアップ講座・サークル事業 7
- (4) ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業 7

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう

- (1) 心配ごと相談事業(一部市受託) 8
- (2) 暮らしのなんでも相談 9
- (3) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 9
- (4) 緊急生活一時資金貸付事業 10
- (5) 緊急食料等支援事業 **強化** 10
- (6) どんぐり基金子育て応援事業 10
- (7) 低所得世帯入学児童支援事業 10
- (8) 歳末見舞金配布事業 11
- (9) 災害見舞金支給事業 11
- (10) 認可外保育施設助成事業 11
- (11) ひとり親家庭支援事業 11

(12) 視覚障がい者への「声の広報」の発行	1 1
(13) こども発達支援センター「たんぼぼ園」 強化 (市受託)	1 1
(14) 相談支援事業所「さくら」	1 3
(15) 日常生活自立支援事業(あすてらす おやま)(県社協受託)	1 3
(16) 成年後見制度利用支援事業(市受託)	1 4
(17) 市民後見推進事業(市受託)	1 4
(18) 法人後見事業	1 5
(19) 基幹型／高齢者サポートセンター小山総合の運営 強化 (市受託)	1 5
(20) ホームヘルプサービス事業(一部市受託)	1 6
(21) 在宅介護支援センター	1 6
(22) 在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業(一部市受託)	1 7
(23) 善意銀行の運営	1 7

2-4. 協働の輪を広げよう

(1) 社協会員会費募集	1 7
(2) 共同募金運動の推進	1 8
(3) どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成 強化	1 9

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

3-1. 誰もが住みやすいまちをつくろう

(1) 車椅子・車椅子移送車貸出事業	1 9
(2) 生活支援担い手養成講習会の開催(市受託)	1 9

3-2. 災害時に助け合えるまちをつくろう

(1) 災害ボランティア活動推進事業 強化	1 9
------------------------------	-----

4. 地域に根づいた法人の運営

4-1. 責任ある法人運営

(1) 理事会、評議員会、委員会の開催	2 0
---------------------	-----

その他

(1) 日本赤十字社事業	2 2
--------------	-----

資料

小山市社会福祉協議会善意銀行寄付者・払出先明細	2 3
令和2年度地域福祉振興基金(どんぐり基金)寄付受入明細書	2 7

事業報告附属明細書	2 9
-----------	-----

1. 地域福祉の意識づくり・ひとづくり

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう

(1) 広報活動事業（強化事業）

① 社協だより「ふれあい」の発行

広報委員会を中心に、分かりやすく親しまれる広報誌の作成に力を入れ、本会のPRと活動への参加を呼び掛けました。

発行月日	方法
6/1・9/1・12/1・3/1	1回あたり54,500部を全世帯に配布

② ホームページの運営、SNSを活用した情報発信

ホームページを通して積極的な情報提供に努めたほか、SNS（Facebook）や市の広報誌、新聞等を利用して啓発活動を進めました。

情報発信回数	ホームページ：37回	Facebook：35回
--------	------------	--------------

(2) 共に生きるまちづくりフォーラム ～第7回 小山市社会福祉大会～の開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止いたしました。また、前年まで福祉大会の中で行っていた社会福祉協議会表彰は、規模を縮小し、下記のとおり式典を行いました。

開催/場所	表彰受賞者
開催日：令和3年3月5日（金） （理事会開催時） 会 場：小山市中央公民館	社会福祉功労者：30名 どんぐり基金寄付者：13件 善意銀行寄付者：4件 「ふくし」の標語コンクール入賞者：13名

(3) 第7回「ふくし」の標語コンクールの開催

期 間	区 分	応募総数	結 果
9月9日(水) ～ 10月21日(水)	小 学 生	625点	最優秀作品1点、優秀作品4点
	中 学 生	485点	最優秀作品1点、優秀作品3点
	一 般	45点	〃
	合 計	1,155点	

(4) 市民リフレッシュ講座事業

「抹茶の頂き方と作法について（講師：おやまお助け隊結城美鶴先生）」の講座を開講予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開講を中止いたしました。

1-2. 福祉の心を育もう

(1)福祉用具貸出しと福祉教育講師派遣

①福祉用具貸出し

区 分	貸出件数		貸出器材内訳					
	校数	回数	点字盤	車椅子	アイマスク	高齢者体験	白杖	ビデオ
小学校	11校	12回	62個	52台	26個	27組	83本	-
中学校	1校	1回	45個	6台	30個	7組	-	-
その他	2校	2回	-	3台	7台	7台	-	-
合 計	14校	15回	107個	61台	63個	41組	83本	-

②福祉教育講師派遣

区 分	校 数	手話講師派遣		点字講師派遣		当事者派遣他		合 計	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
小学校	5校	5回	22人	2回	5人	-	-	7回	27人
中学校	1校	1回	4人	1回	3人	-	-	2回	7人
その他	1校(園)	1回	3人	-	-	-	-	1回	3人
合 計	7校(園)	7回	29人	3回	8人	-	-	7回	29人

(2)福祉教育協力校補助事業

区 分	校 数	補助額
小 学 校	24校	462,000円
中 学 校	2校	40,000円
義務教育学校	1校	26,000円
高 等 学 校	3校	81,000円
合 計	30校	609,000円

(3)サマーボランティアスクール事業

①小学生親子（4年生以上）サマーボランティアスクール

開催日/会場	内 容	協力機関・団体	参加者
8月2日(日) 健康医療介護総合 支援センター	視覚障がいについて学ぼう ア. 盲導犬についてのお話しと歩行体験 イ. 点訳体験 ウ. 学習シートに沿った事前学習、振り返り	東日本盲導犬協会 小山点友会	28組 58名

②中学生（2年生以上）・義務教育学校（8年生以上）・高校生サマーボランティアスクール

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

1-3. 地域福祉活動を実践しよう

(1) ボランティア養成講座事業

於：市保健福祉センター

講座名	期 間	回数	協力団体	参加者
手話初級講座	9/3～12/10(木曜 昼)	15回	手話サークル 環	4人
手話初級講座	7/14～9/15(火曜 昼)	10回	手話サークル すずらん	3人
手話入門講座	6/25～12/10(木曜 夜)	23回	手話サークル 光里の環	12人
オカリナ講座	7/15～2/17(水曜 昼)	15回	サークル オカリナ	4人
要約筆記入門講座	11/10～12/8(火曜 夜)	5回	おやまOHP	2人
パソコン点訳初級講座	7/14～10/27(火曜 夜)	15回	福朗の会	1人
点訳入門講座	9/1～12/22(火曜 昼)	15回	小山点友会	2人
音訳ボランティア養成初級講座	11/17～4/.27(火曜 夜)	15回	郭公の会	1人
8講座(手話3、オカリナ1、要約筆記1、点字2、音訳1)		113回	8団体	29人

(2) おやまお助け隊(個人ボランティア)、ボランティアサークルの状況(強化事業)

項 目	登録数	活動費助成
おやまお助け隊(個人ボランティア)	45人	-
ボランティアサークル	30団体(1,418人)	計523,000円を助成

(3) 社協ボランティアセンターの運営

① ボランティアの相談・斡旋、登録団体等への支援状況

項 目	件 数
ボランティア活動の相談	18件
ボランティア要請の相談	6件
ボランティア派遣・調整	4件
登録団体の活動支援 (活動場所調整、情報提供、視察研修、 物品・助成金申請・記念誌発行支援等)	随時

② ボランティア保険取扱い

種 類	取扱件数		
	団体加入	個人加入	加入者合計
ボランティア活動保険	32団体	5人	1,568人
ボランティア行事用保険	-	-	-
福祉サービス総合補償	2団体	-	15人
送迎サービス補償	4団体	-	-
合 計	38団体	5人	1,583人

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう

(1)地区社会福祉協議会の設立・活動推進（強化事業）

地域住民が地域の生活・福祉課題を共有し、地域の助け合いによって課題を解決し、住民主体の地域福祉活動を推進するために、市内8地区4支部に地区社会福祉協議会を設置し、活動費の助成、各地区の状況に応じた支援を行いました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事・イベント等の多くが開催を中止しました。

地区名	活動内容	
小山地区 (H18.10.1 設立)	各支部の活動支援 広報活動（中止） 研修会（中止）	
小山地区 4支部	北部支部 (H18.8.26 設立)	高齢者への名札配布（中止） 視察研修会（中止） コミュニティ食堂の開催（中止）
	東部支部 (H18.8.26 設立)	高齢者と子供のふれあい事業（中止） 視察研修会（中止） 研修会の開催（中止） 一人暮らし高齢者宅（75歳以上）友愛訪問（1月～2月）
	中部支部 (H18.8.30 設立)	自治会ボランティア会での友愛訪問活動（通年） 広報紙「中部だより」の発行 小山第一小学校との交流事業（中止） 研修事業（中止）
	南部支部 (H18.9.5 設立)	一人暮らし・高齢者夫婦世帯（75歳以上）友愛訪問（10月～11月） 広報紙「南部だより」の発行（11月） 講演会の開催（中止） 視察研修（中止）

地区名	活動内容
<p>大谷地区 (H15.12.14 設立)</p>	<p>おおや社協だより「大谷きずな」発行(43号・44号・45号) 地区社協PR活動(施設他2件)(中止) 寝たきり老人紙おむつ券給付事業(申請:3千円×80人) 大谷手打ちそばの会活動支援(いきふれ2回、自治会1回)(中止) 高齢者一人暮らし お昼を一緒に食べる会(中止) 地域美化活動(感染対策のため花の苗配布のみ 7校) 地域障がい者と継続的關係作り(中止) 「月曜カフェ」の開催(毎週月曜日・一部休止) 中学校の制服支援の検討 高齢者等の日常生活支援事業(支援回数149件) ボランティア研修会・交流会の開催(中止) ボランティアニュースレター発行(No.11) 地域福祉コーディネーターによる相談対応「暮らしの相談室」</p>
<p>間々田地区 (H15.1.17 設立)</p>	<p>地域ボランティア会活動の推進と助成金交付 (友愛訪問、清掃活動、敬老会、福祉施設訪問、子育て支援、研修会等)</p>
<p>豊田地区 (H14.6.1 設立)</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動中止</p>
<p>桑地区 (H14.7.30 設立)</p>	<p>「桑地区社協パンフレット(保存版)」の配布 見守り安心サポーター事業 桑地区高齢者見守り訪問事業 レクリエーションフェスティバル(中止) ドッジボール大会(中止) 「楽しい健康づくりの集い」事業(中止) マルベリー館(桑公民館)まつりへの協力(中止) 「コロナに負けるな羽川イルミネーション2020」への協力(12月) 地域交流会(中止) 冬の星座観測会(12月)</p>
<p>中地区 (H25.5.19 設立)</p>	<p>中地区社協活動計画の推進(延期) 視察研修会(中止) いきいきふれあいさくらとの交流会(中止) 昔あそび交流会(中止) 中地区ふくしだよりの発行(8・9号)</p>
<p>寒川地区 (H25.5.30 設立)</p>	<p>標語コンクール協力 交流事業(中止)</p>
<p>絹地区 (H27.3.4 設立)</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動中止</p>

(2)生活支援体制整備事業（強化事業/市受託事業）

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、市と連携を図りながら第1層協議体（市圏域の支え合いを発展させ、多様な生活支援サービス体制を推進していく場）を運営しています。高齢者の買い物支援が6か所立ち上り、通院支援を行う外出を支え隊が活動を開始したことから、平成3年度は、新たな地域のつながり方について～企業や商店等の地域資源を活用した小さな拠点づくり～だれでも参加できる地域のサロンづくりとして、①常設型②定期型③サロンを長く続けるための人材づくり）をテーマとして協議を続けてきました。

その結果、①市内空き店舗を活用した常設型モデルサロンの開設場所が決まり、②介護相談センターあじさいの協力を得て、3月23日定期型サロンが開設されました。③①②サロンの具体的な人材づくりを目指すフォーラム開催に向け話し合いを進めています。

また、第2層の運営業務を受託し、小山地区高齢者の実態把握を行い、支え合い活動の推進に取り組みました。

①第1層協議体・専門委員会(まるっとおやま支え愛)の開催

	実施日	内 容（詳細）
第1回	6/21	新たな地域のつながり方 テーマ「新たな地域のつながり方を考えよう」 ～企業や商店等の地域資源を活用した小さな拠点づくり～ グループワーク ①グループ だれでも参加できる常設型サロンづくり ②グループ だれでも参加できる定期開催型サロンづくり ③グループ サロンを続けるための人材づくり ①と②は目的や運営方針、開設場所や必要経費等について話し合い、③は人材を発掘するには等を話し合った。
第2回	10/18	新たな地域のつながり方 グループワークで、①は開設場所とどのように運営していくか、②はサロンを開設することを具体的にイメージして、③は人材を発掘するにはを中心に話し合った。
第3回	12/13	新たな地域のつながり方 グループワークで、①はモデルで開設場所をイオンの「みんなの広場」を活用し、有償ボランティアでの運営を目指す。②は「サポネット城東」をモデルに実施していく。③はボランティアの集い「ゆるやかな つながりから 新しいボランティアの姿を見つける」をテーマに開催。
第4回	3/28	新たな地域のつながり方 ～企業や商店等の地域資源を活用した小さな拠点づくり～ ①のモデルでの開設場所を城東2丁目の空き店舗を活用して開設することを報告 ②はサポネット城東で3月23日サロンを開設したことを報告 ③はボランティアの集いに関する意見を皆さんからいただいた ・新年度の活動計画(案)について

②外出を支え隊運営事業

市社協で、令和3年1月4日より3ヵ月試行後、新年度から自主事業として高齢者の通院を支援しています。利用者30名 ボランティア12名 延べ利用112件

③「認定ドライバー養成研修」

○令和3年6月6日(日)～7日(月)に開催 23名参加

(内 外出を支え隊ボランティア登録者 5名)

○令和4年1月23日(日)～24日(月) コロナの関係で延期としました。

④買物支援事業

市内の6事業所の協力を得て、7自治会6グループで月2回、買い物支援が実施されています。

⑤「生活支援サービス担い手養成研修」

10月開催を11月17日(水)～12月8日(水)に延期して開催 20名参加

⑥TV小山「ふれあいネット 地域支え合い情報局」による地域支え合い活動のPR

住民主体の支え合い活動をTV小山で取材していただき、活動を広めるとともに啓発してきました。

⑦生活支援コーディネーター研修

実施日	研修名	主催等
R3 11/18	県生活支援体制整備事業担当者情報交換会	栃木県・県社協
R4 3/18	ご近所福祉クリエイションプレゼンツ わいがや座談会 (オンライン)	ご近所福祉クリエイション 酒井保
3/22	小山市SC研修会 「芋づる式地域の歩き方」 (SCは直接参加し、他の高サポ職員はオンラインで参加)	小山市社会福祉協議会

2-2. 地域のつながり・交流の場を広げよう

(1)おもちゃ図書館の開館

昭和61年9月に、心身障がい児を対象として、障がい児の相互の交流を図りながら遊びを創造し、子ども達の成長・発達を支援していくことを目的として開設され、ボランティアグループ「ピノキオ」の協力を得て運営を行ってきました。

現在は、広く一般のお子さんを対象に開館し、学生ボランティアの参加も得ながら、沢山の親子がおもちゃを通して交流を図れる場となっています。

開設日時	毎月第1土曜日 午前10時～午後3時(祝・祭日は休館) 令和2年度においては4・5・2月は感染拡大防止のため休館
開設場所	こども発達支援センター「たんぽぽ園」(神鳥谷934-3)
活動状況	利用者数：延302人 協力ボランティア数：延56人

(2)児童遊び場整備事業

各自治会で管理する児童の遊び場の整備について、共同募金より助成金を交付いたしました。

自治会名	助成額	総額
土塔一自治会	遊具塗装：50,000円	50,000円
島田南自治会	遊具塗装：6,500円	6,500円

(3)シニアライフアップ講座・サークル事業

市内在住の60歳以上の方を対象に、昭和60年から講座を開講し、ライフワークとして趣味を楽しむきっかけづくり、生きがいづくりを推進しています。なお、平成30年度からは、講座の名称を、「シニアライフアップ講座」と改めて実施しています。サークルは、講座修了後も技術の習得や仲間づくりを継続していくことを目的に、希望者が主体的に活動を行っているものです。

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次の通り対応。

①	シニアライフアップ講座 (籐手芸、日光彫、太極拳、折り紙、ガーデニング)	開講中止
②	シニアライフアップサークル (籐手芸、日光彫、花木園芸、押し花、絵手紙、折り紙)	活動中止
③	シニアライフアップ講座・サークル合同作品展覧会 (道の駅思川評定館にて2日間開催予定)	開催中止

(4)ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

老人クラブ、地域ボランティア会の協力を得て、孤立しがちな75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、社会とのふれあいをもってもらい、地域のあたたかい気持ちを伝えることを目的として、会員が日用品等を届けながら月2回程度訪問する友愛訪問事業を実施しました。

地区名	実施クラブ	対象者数(人)			地区名	実施クラブ	対象者数(人)		
		男	女	計			男	女	計
小山地区	3ヶ所	3	10	13	豊田地区	1ヶ所	1	4	5
大谷地区	2ヶ所	3	4	7	桑地区	7ヶ所	7	23	30
間々田地区	5ヶ所	8	22	30	絹地区	1ヶ所	3	3	6
生井地区	-	-	-	-	小計	21ヶ所	26	70	96
寒川地区	1ヶ所	1	2	3					
中地区	1ヶ所	-	2	2	自治会V会	4ヶ所	4	38	42
穂積地区	-	-	-	-	合計	27ヶ所	30	108	138

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう

(1)心配ごと相談事業（一部市受託事業）

社会生活の中で生ずる諸問題について、相談員（民生委員児童委員、学識経験者）が市民からの相談に応じ、問題解決の手助けを行っています。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時弁護士相談を電話相談により対応、一般相談を社会福祉協議会職員により対応いたしま

した。

開設日時：毎週火曜日 午前10時～午後3時（毎月第2・第4の午前中は法律相談）

場 所：市神鳥谷庁舎 心配ごと相談室（神鳥谷931-3）

ア. 相談実施状況

項目	一般相談	法律相談	合計
開設日数	26日(延相談員数13人)	21日(延相談員数39人)	47日(延相談員数52人)
相談件数	16件(内電話相談7件)	101件(内電話相談55件)	117件(内電話相談62件)

イ. 相談種別取扱件数

NO	相談種別	件数	割合	NO	相談種別	件数	割合
1	財産問題	35件	29.8%	11	精神衛生問題	3件	2.6%
2	離婚問題	17件	14.5%	12	老人福祉問題	3件	2.6%
3	生計問題	15件	12.8%	13	人権・法律問題	2件	1.7%
4	家族問題	8件	6.8%	14	結婚問題	1件	0.9%
5	住宅問題	7件	6.0%	15	年金問題	1件	0.9%
6	苦情問題	7件	6.0%	16	母子・福祉福祉問題	-	-
7	事故問題	7件	6.0%	17	健康・衛生問題	-	-
8	職業・生業問題	4件	3.4%	18	児童福祉・母子保健問題	-	-
9	医療問題	4件	3.4%	19	教育・青少年問題	-	-
10	その他	3件	2.6%	20	心身障がい者・児童福祉問題	-	-
相談件数合計						117件	100%

(2)暮らしのなんでも相談

来庁・電話による市民からの相談を随時受け付け、適切な機関につなげるとともに、本会として援助を行いながら、要援護者の抱える問題を軽減し、自立に向けた支援を行いました。

項目	実績	内訳（相談回数・内容別）	
相談者数	128人	1回みの相談	99人 77.3%
		継続して相談	29人 22.7%
延相談件数	241件	生活の困窮に関する相談 (新型コロナウイルス特例貸付を除く)	155件 64.3%
		精神疾患、認知症に関する相談	27件 11.2%
		家族問題に関する相談	10件 4.2%
		その他(虐待・DV、日常の不安等)	49件 20.3%

(3) 生活福祉資金貸付事業（栃木県社会福祉協議会受託事業）

低所得世帯、身体障がい者世帯、失業等により生活が困難な世帯を対象に、経済的自立を支援し、

生活意欲の助長を図ることを目的として貸付を行いました。また、今年度は特例貸付として、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減収や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯への貸付申請も行いました。実施主体は栃木県社協となり、本会は申請書類の受理、償還指導、予備審査等の直接的な事務を担当しました。

生活福祉資金貸付件数

資金種別	貸付件数	貸付金額(円)
総合支援資金	3件	1,121,526円
福祉・教育・小口資金	2件	1,182,000円
生活復興支援資金	-	-
離職者支援資金	-	-
臨時特例つなぎ資金	-	-
合計	5件	2,303,526円

新型コロナウイルス感染症 特例貸付申請件数

資金種別	申請件数	申請金額(円)
緊急小口資金特例貸付	1,527件	282,120,000円
総合支援資金特例貸付	823件	357,980,000円
総合支援資金特例貸付(延長貸付)	147件	70,890,000円
総合支援資金特例貸付(再貸付)	306件	145,140,000円
合計	2,803件	856,130,000円

(4)緊急生活一時資金貸付事業

他から借り受けることが困難な低所得世帯に対し、経済的自立を支援し生活意欲の助長を図ることを目的に、生活のつなぎとして資金を貸付しました。

【緊急生活一時資金月別貸付・償還状況】(償還金額は令和2年度より前の貸付分を含む)

月	貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
4月	3件	25,000円	5件	24,000円
5月	5件	50,000円	4件	44,000円
6月	1件	10,000円	6件	46,000円
7月	3件	30,000円	3件	27,000円
8月	5件	50,000円	3件	25,000円
9月	4件	35,000円	4件	40,000円
10月	3件	30,000円	7件	60,000円
11月	5件	40,000円	4件	29,000円
12月	5件	50,000円	8件	80,000円
1月	9件	85,000円	4件	45,000円
2月	3件	30,000円	9件	77,000円

3月	5件	50,000円	4件	28,000円
合計	51件	485,000円	61件	525,000円

(5)緊急食料等支援事業（強化事業）

NPO法人フードバンクとちぎ、道の駅思川、本会善意銀行事業と連携し、生活が困窮し食料等の確保に逼迫している世帯に対し、食料の現物支給による支援を行いました。

受入量	提供量	支援件数
1,173Kg	895Kg	86世帯 延96回

(6)どんぐり基金子育て応援事業

市民からの善意の寄付金である「どんぐり基金」を活用し、止むを得ない事情により生計を維持できなくなってしまった世帯や、緊急一時的に生計維持が困難となってしまった世帯に対し、緊急の給付金（限度額2万円）や食料等を購入するための助成金（限度額5千円）を支給し、児童とその家庭の安全で安心な生活の確保に努めました。

項目	延支給世帯数	支給額
緊急食料等支援	3世帯	15,000円
緊急給付金支給	0世帯	0円
合計	3世帯	15,000円

(7)低所得世帯入学児童支援事業

小学校に入学する生活保護世帯の児童3名に対し、ランドセルを贈り就学を支援しました。

(8)歳末見舞金配布事業

項目	内容
実施期間	対象世帯調査：9月1日（火）～9月25日（金） 配布期間：12月8日（火）～12月31日（木）
対象世帯	市内に3ヶ月以上居住する要支援世帯（低所得世帯）（*） *生活保護世帯を除き、ひとり親世帯、高齢者世帯、身体障がい者世帯、準要保護世帯等の低所得世帯（民生委員児童委員が世帯状況を調査し配布）
配布実績	配布件数：873世帯(2,429人) 支給総額：9,413,000円

(9)災害見舞金支給事業

災害救助法の適用にならない小災害の罹災3世帯に対して、60,000円を見舞金として贈りました。

(10)認可外保育施設助成事業

歳末の時期、児童への楽しい催しの際の助成として、認可外保育施設8施設（対象児童109人）に476,000円の助成金を支給しました。

(11)ひとり親家庭支援事業

ひとり親家庭に歳末時期に楽しい企画を提供するため、母子寡婦福祉会連合会の協力のもと、道の駅思川及び善意銀行と連携し材料等の提供の協力を得ながら開催し、支援しております。

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

(12)視覚障がい者への「声の広報」の発行

視覚障がい者を対象に、「広報おやま」「市議会だより」「社協だより」「警察だより」等の身近な情報を、ボランティアグループ「郭公の会」の協力を得てCDにデジター録音し、月1回無料で発行しました。約20人の利用者があり、視覚障がい者の貴重な情報源となっています。

(13)こども発達支援センター「たんぽぽ園」

①児童発達支援事業（一部市受託事業）

小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」は、昭和43年6月に母子通園ホームとして第一歩を踏み出し、小山市・石橋町・国分寺町・野木町に、平成11年度からは上三川町・南河内町を加え、1市5町の身体障がい児福祉の中核施設として発展してきました。

その後、在籍児童数の急増により5町の独立が図られ、現在は小山市を対象地域として、肢体不自由児、知的障がい児、その他障がいを持つ子どもたちや発達に心配のある子どもたちを対象に、療育訓練を行っています。

平成28年8月からは、開設場所をこれまでの市保健福祉センター内から、あけぼの保育所仮園舎跡（神鳥谷934-3）に移し、療育を行っています。

【契約幼児の状況】（R3.3.31 現在）

ア. 市町別幼児数

小山市	他市町	計
58人	3人	61人

イ. 年齢別幼児数

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
0人	0人	10人	17人	14人	20人	61人

ウ. 障がいの特性別幼児数

肢体不自由	知的な遅れ	自閉症スペクトラム(疑い含む)	その他	計
2人	6人	53人	0人	61人

②放課後等デイサービス事業（強化事業）

平成28年11月から、就学児を対象に、学校終了後又は夏休み等の長期休業日に、生活能力の向上のため必要な訓練を行ったり、社会との交流促進を図り学校や家庭とは異なる交流、体験を通じて発達支援を行う「放課後等デイサービス事業」を開始しました。

【契約児童の状況】(R3.3.31 現在)

ア. 市町別児童数

小山市	他市	計
27人	2人	29人

イ. 学年別・所属別児童数

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
7人	7人	3人	7人	3人	2人	29人

普通学級	特別支援学級	特別支援学校	計
1人	15人	13人	29人

ウ. 障がいの特性別児童数

肢体不自由	知的な遅れ	自閉症スペクトラム(疑い含む)	計
2人	8人	19人	29人

【小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」利用状況】

年月	児童発達支援						放課後等デイサービス					
	月当初	新規	退園	月末	延べ人数	開設日数	月当初	新規	退園	月末	延べ人数	開設日数
R2.4	36	8		44	104	20	22	7		29	81	20
R2.5	44	3		47	85	18	29	0		29	69	18
R2.6	47	1		48	184	22	29	0		29	131	22
R2.7	48	2		50	178	21	29	0		29	132	21
R2.8	50	2		52	183	21	29	0		29	113	21
R2.9	52	2		54	196	20	29	1		30	142	20
R2.10	54	1	1	54	207	22	30	0	1	29	138	22
R2.11	54	1		55	186	19	29	0		29	133	19
R2.12	55	4	1	58	190	20	29	0		29	128	20
R3.1	58	1	2	57	194	19	29	0		29	112	19
R3.2	57	4		61	192	18	29	0		29	120	18
R3.3	61	0	4	57	210	21	29	0		29	137	21
合計	***	29	8	***	2109	241	***	8	1	***	1436	241

(14)相談支援事業所「さくら」

障がい児・者とその家族からの相談に応じ、利用者の意志を尊重し、適切なサービスが利用できるよう福祉サービス等の利用計画を作成するとともに、利用者が可能な限り自立した日常生活・社会生活を送ることができるよう支援しました。

契約人数		相談件数	
障がい児	79人	電話	807件
障がい者	5人	訪問・面談	446件
合計	84人	合計	1273件

(15)日常生活自立支援事業（あすてらす おやま）（栃木県社会福祉協議会受託事業）

平成11年10月より、栃木県社会福祉協議会から事業委託を受け、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力に不安のある方が自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類の預かりサービス等の相談・支援を行いました。管轄地域は、小山市、野木町の1市1町となっています。

ア. 利用者数

前年度末利用者数	契約件数	解約件数	年度末利用者数
100人	12人	11人	101人

イ. 状況別利用者数

認知症高齢者等	知的障害者	精神障害者	その他	計
60人	18人	23人	0人	101人

ウ. 年齢別利用者数

59歳まで	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	計
23人	21人	26人	16人	15人	101人

エ. 相談・支援件数

相談件数	支援件数
3,777件	1,689件

オ. 支援件数内訳

専門員	生活支援員	合計
614件	1,075件	1,689件

(16)成年後見制度利用支援事業（市受託事業）

成年後見制度に関する相談、適切な機関へのつなぎも含め必要な支援を行うとともに、市長申立や費用助成等の援助等を通し、必要な方が誰でも適切に制度を利用することができるよう、支援を行いました。

相談者数	初回相談方法			相談延件数	訪問件数	申立に至った件数			費用助成件数	
	来庁	電話	訪問			親族等申立支援	市長申立	計	後見人報酬	申立費用
73人	12件	60件	1件	361件	58件	4件	1件	5件	2件	0件

(17)市民後見推進事業（市受託事業）

今後不足することが見込まれる専門職後見人に代わり、市民を後見人として育成し活動できる体制を整備するため、成年後見制度の普及・啓発を中心に事業を実施しました。

①『思いつむぎノート』の配布

配布部数	配布場所
500冊	高齢者サポートセンター、イオン小山店、市関係各課、出前講座受講者、希望者、相談者等

②『権利擁護あんしんサポートブック』の配布

配布部数	配布場所
1,300冊	高齢者サポートセンター、高齢者関係事業所、障がい者関係事業所、市関係各課、出前講座受講者、希望者、相談者等

③出前講座の開催

講座名	実施回数	受講者数
障がいや認知症があっても安心できる将来をめざして	0回	0人
「思いつむぎノート」書き方講座	0回	0人
成年後見制度と「あすてらす おやま」	1回	5人
知って安心！ 認知症への備えと予防	0回	0人
楽しくわかる 終活講座	2回	55人
合計	3回	60人

④成年後見制度推進に関する検討委員会

開催日	協議事項
10月21日(水)	小山市社協における成年後見制度に関する取組みの報告 日常生活自立支援事業「あすてらす おやま」の実施状況の報告 今後の小山市社協における成年後見制度に関する事業の展望
12月7日(月)	法人後見事業の実施体制の整備 市民後見推進の体制整備 成年後見推進委員会の設置
令和3年 2月17日(水)	法人後見事業実施要綱の整備 成年後見推進委員会設置要綱の整備 ケース検討会議について

(18)法人後見事業

	総数	うち高齢者	うち障がい者
受任中件数	4 件	2 件	2 件
累計受任件数	5 件	2 件	2 件
累計終了件数	1 件	1 件	—

(19)基幹型地域包括センター／高齢者サポートセンター-小山総合の運営（強化/市受託事業）

①基幹型地域包括支援センター業務

平成27年度より、市内高齢者サポートセンターの基幹型として、市との連絡調整、各高齢者サポートセンターの統括、支援等を行い、高齢者サポートセンターの機能強化を図り地域包括ケアの推進に努めました。

活動内容		回数
定例会（センター、主任ケアマネ、社会福祉士、保健師・看護師）		全36回
高齢者サポートセンター運営協議会		2回
自立支援検討会議		7回（25ケース）
相談・支援	各高齢者サポートセンターへの支援・指導	84件
	ケアマネジャー・事業所に対する相談	20件

②高齢者サポートセンター-小山総合業務

小山地区（東部・南部支部の一部）の高齢者福祉の中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を継続することができるよう、総合相談、要介護状態にならないような予防対策をはじめ、個々の状態に応じた介護予防プランの作成等の支援を行いました。

ア. 総合相談等業務

区分	実績	相談者内訳
相談実人数	324人	来所 99人、電話 235人、うち訪問 59人（再掲）
相談延人数	490人	来所 138人、電話 352人、うち訪問 122人（再掲）
実態把握調査	281件	

イ. 介護予防支援業務

区分	実績
介護予防教室開催	3回（参加者 40人）
介護予防プラン作成（直営）	65人（延 828人）
介護予防プラン作成（委託）	52人（延 558人）
事業対象者プラン作成	13人（延 488人）

(20)ホームヘルプサービス事業

平成7年7月に小山市からの受託事業としてスタートし、平成11年4月からは、小山市よりホームヘルパーの移管を受けて、介護保険と介護予防サービスの利用者、自立支援サービスの利用者に対して、食事や身の回りの世話、相談、助言等の各種サービスを提供しました。

ア. 対象世帯別サービス提供者数

対象世帯	人数	利用者内訳
介護保険、介護予防利用者	50人	介護20人、介護予防25人、事業対象者5人
自立支援利用者	16人	身体障がい8人、知的障がい3人、精神障がい4人、児童1人
同行援護、移動支援利用者	6人	同行援護5人、移動支援1人
合計	72人	

イ. ホームヘルパー活動状況（常勤・登録別サービス提供時間）

区分	人数	訪問延日数	訪問延回数	訪問延時間
常勤ヘルパー	2人	446日	1,101回	980時間45分
登録ヘルパー	11人	2,373日	7,134回	6,527時間15分
計	13人	2,819日	8,235回	7,508時間00分

(21)在宅介護支援センター

平成11年4月に開所し、平成12年度からは介護保険制度の導入に対応しながら、介護や保健福祉サービスなど各種相談に対応してきました。平成18年4月に介護保険法が改正され、「高齢者サポートセンター」が地域に密着した相談窓口を行うことになってからは、介護サービス計画（ケアプラン）や介護予防プランの作成を中心に行いました。

ア. 介護サービス計画及び介護予防プラン作成人数

区分	実人数	延人数
介護サービス計画	35人	371人
介護予防プラン	13人	110人
合計	48人	481人

対応実人数	対応延べ人数	対応内容
48人	1,093人	電話551人、来所4人、訪問538人

(22)在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業（要介護4・5非課税世帯：市受託事業）

在宅ねたきり老人等を対象に、紙おむつ券の給付を行いました。給付券1枚は1,000円分で、市内38ヶ所の店舗で交換でき、申請月によって非課税世帯には最大で12枚、課税世帯には最大で5枚の給付券を給付しました。

区分	対象者	配布枚数	内使用枚数	助成額
非課税世帯（要介護4・5）	102人	1,104枚	920枚	920,000円
非課税世帯（その他）	280人	2,983枚	2,608枚	2,608,000円
課税世帯	643人	2,916枚	2,512枚	2,512,000円
合計	1,025人	7,003枚	6,040枚	6,040,000円

(23)善意銀行の運営

不要になった物や活動の収益で購入した物など、市民、団体、企業からの善意の寄付を、必要とする施設や個人に払出し、助け合いの活動を行いました。(詳細は23～26ページ参照)

預託(延)		払出(延)	
個人	62件	個人	37件
団体	20件	団体	45件
合計	82件	合計	82件(重複を含む)

2-4. 協働の輪を広げよう

(1) 社協会員会費募集

市民総参加による地域福祉活動を推進するために、引き続き会員拡充に努め、自治会連合会、民生委員児童委員協議会等の協力と多くの市民の理解により、次のとおり会員の加入を得ました。

◎会員加入の状況

会 員 数				会費納付額
普通会員	特別会員	法人会員	計	
29,222 口	1,308 口	207 口	30,737 口	11,116,400 円

◎地区別内訳

地区	普通会員		特別会員		法人会員		その他 (円)	金額 (円)
	人数 (人)	口数 (口)	人数 (人)	口数 (口)	人数 (人)	口数 (口)		
小 山	9,778	9,778	335	337	50	50	4,130	3,524,530
大 谷	5,582	5,582	179	184	14	14	200	1,928,800
間々田	4,158	4,158	229	231	40	41	1,120	1,684,520
生 井	488	488	77	77	2	2		233,400
寒 川	255	255	78	78	4	4	400	174,900
豊 田	1,390	1,390	128	129	3	3	300	561,300
中	597	597	16	16	3	3		210,100
穂 積	513	513	7	7			300	161,200
桑	4,663	4,663	108	113	23	23	200	1,627,100
絹	1,153	1,153	34	34	1	1	150	385,050
社協扱	645	645	102	102	63	66		625,500
合 計	29,222	29,222	1,293	1,308	203	207	6,800	11,116,400

※社協扱には、市職員分を含む。

(2)共同募金運動の推進

毎年10月1日～12月31日の期間、全国一斉に募金活動が展開され、小山市においても、戸別・職域・法人・街頭募金など様々な方法によりご協力をお願いしました。

集められた寄付金は、栃木県共同募金会により県内の民間社会福祉施設・団体等へ配分されるほか、本会を通じて市内の身近な地域福祉活動に還元しています。

①募金募集実績

募金種別	募金実績
戸別募金	19,608,665円
法人・篤志募金	1,915,500円
街頭募金	※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
バッチ募金	286,200円
学校・職員・その他	791,144円
合 計	22,601,509円

②募金配分実績（令和元年度募金分）

対象別	配分額	内 容
A 県共同募金会配分	8,678,000円	県内各種福祉施設・団体配分
B	高齢者事業	833,450円 友愛訪問事業、団体への活動費助成等
	障がい児・者事業	371,000円 団体への活動費助成等
	児童・青少年事業	107,600円 児童遊び場等
	住民全般事業	12,415,967円 福祉教育、ボランティア活動支援、サマーボランティアスクールの開講、歳末見舞金配布、認可外保育施設助成等
合 計	22,406,017円	

③災害見舞金支給事業

栃木県共同募金会緊急配分資金規定に基づき、小災害の罹災3世帯に対して、30,000円を見舞金として贈りました。

(3)どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成(強化事業)

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を図るため、昭和56年3月に設置された本基金は、市民、自治会をはじめ、福祉基金協力会等の協力を得て造成運動を実施し、平成元年に1億円、平成4年に2億円を達成しました。これを期に自治会への戸別募金を終了し、現在では、団体や個人、募金箱の設置等による善意の寄付を受入れ、運用利息をボランティア団体への活動補助金や在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業のほか、平成26年11月からは、子どもの貧困対策事業に活用しています。

どんぐり基金積立状況(令和2年度寄付受入金の詳細は27～28ページ参照)

令和2年度寄付金	基金累計額	基金保有額
2,959,253円	436,360,284円	378,423,975円

*基金累計額と基金保有額の差額(57,936,309円)は、還元事業に活用しました。

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

3-1. 誰もが住みやすいまちをつくろう

(1)車椅子・車椅子移送車貸出事業

介護保険による車椅子のレンタルが利用できない高齢者や、旅行や催しなどの際の短期間の利用希望に応えるため、車椅子を無償で貸し出し、在宅での生活を支援しました。

また、身体機能の低下や障がい等で一般の交通機関が利用できない方に対しては、車椅子移送車を貸し出し、社会参加や病院等への送迎を援助しました。

区分	利用人数(延)・日数(延)
車椅子	102人・3475日
車椅子移送車	68人・106日

(2)生活支援サービス担い手養成研修(市受託事業)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、互助を基本とした地域の支え合いが必要であることから、地域で日常生活を支援するボランティアを養成するための研修を企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべて中止としました。

3-2. 災害時に助け合えるまちをつくろう

(1)災害ボランティア活動推進事業(強化事業)

1 day 親子防災キャンプの開催

(於：健康医療介護総合支援センター研修室)

開催日	内容	講師	参加者数
11月14日(土)	防災迷路、防災グッズ作成と 防災ワークショップ	野村卓也氏 (株式会社野村防災)	55人

4. 地域に根づいた法人の運営

4-1. 責任ある法人運営

(1)理事会、評議員会、委員会の開催

①理事会

開催日	議案
6月5日(金)	理事及び監事の推薦について（退任者補充） 評議員候補者の推薦について（退任者補充） 評議員選任・解任委員会委員の選任について（退任者補充） 評議員選任・解任委員会の招集について 第三者委員の選任について（退任者補充） 委員会委員の指名について（退任者補充） 令和元年度事業報告について 令和元年度決算について 令和元年度決算における社会福祉充実計画について 令和2年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算(案)について 令和2年度第1回評議員会の招集について
8月11日(火)	次期理事の推薦について（退任者補充） 令和2年度第2回評議員会の招集について
8月25日(火)	会長の選定について
令和3年 3月5日(金)	令和2年度 小山市社会福祉協議会 第2次資金収支補正予算(案)について 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正（案）について 令和3年度 小山市社会福祉協議会 事業計画（案）について 令和3年度 小山市社会福祉協議会 資金収支予算（案）について 第4期小山市地域福祉活動計画（案）について 令和3年度における小山市との業務委託契約の締結について 令和元年度 第3回評議員会の開催について

②評議員会

開催日	議案
6月22日(月)	理事及び監事（退任者補充）の選任について 令和元年度事業報告について 令和元年度決算について 令和元年度決算における社会福祉充実計画について 令和2年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算(案)について
8月25日(火)	理事の選任について（退任者補充）
令和3年 3月22日(月)	令和2年度 小山市社会福祉協議会 第2次資金収支補正予算(案)について 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正（案）について 令和3年度 小山市社会福祉協議会 事業計画（案）について 令和3年度 小山市社会福祉協議会 資金収支予算（案）について 第4期小山市地域福祉活動計画（案）について

③評議員選任・解任委員会

開催日	協議事項
6月12日(金)	評議員選任・解任委員会委員の変更について（報告） 評議員の選任（退任者補充）について 令和2年定時評議員会の開催について（報告）

④総務・事業委員会

開催日	協議事項
令和3年 2月9日(火)	社会福祉功労者表彰及び標語コンクール結果報告について 新規事業「外出を支え隊」について 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について

⑤福祉委員会

開催日	協議事項
10月19日(月)	第7回「ふくし」の標語コンクール作品の募集について 歳末末見舞金事業について 在宅寝たきり老人等紙おむつ券給付事業について
令和3年 1月25日(月)	第7回「ふくし」の標語コンクール優秀作品の選出について 在宅寝たきり老人等紙おむつ券給付事業の状況について 緊急生活一時資金貸付事業の貸付・償還状況及び欠損処分について フードバンクと連携した緊急食料等支援事業について どんぐり基金を活用したこどもの貧困対策事業について 赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業について

⑥広報委員会

開催日	協議事項
5月7日(木)	社協だより ふれあい(6月1日号)の掲載記事について 書面による開催
8月4日(火)	社協だより ふれあい(9月1日号)の掲載記事について
11月4日(水)	社協だより ふれあい(12月1日号)の掲載記事について
令和3年 1月29日(金)	社協だより ふれあい(3月1日号)の掲載記事について 令和3年度の発行予定及び契約業者について

その他

(1)日本赤十字社事業

日赤栃木県支部小山市地区として、活動資金募集、各団体・機関が実施する血液事業や健康生活支援講習等の事業に活動費を交付しました。

また、火災等被災された世帯に対して、見舞金等の支給や災害救援物資の支給を行いました。

① 活動資金募集実績

目標額	実績額
17,977,000円	14,312,874円

②災害救護活動実績

内容	実績	
	件数	金額
見舞金	3件	60,000円
死亡弔慰金	0件	0円
毛布	8枚	
布団	8組	
緊急セット	4セット	

小山市社会福祉協議会善意銀行寄付者・払出先明細（敬称略）

寄 付 内 容			払 出 先
寄 付 者	物 品 名	数 量	
匿名（個人）	食 品	3 k g	小山市社協（個人）
ちとせ竜一	布 類	多 数	小山市社協（団体）
匿名（個人）	食 品	5 k g	小山市社協（個人）
匿名（個人）	手 ぬ ぐ い	多 数	小山市社協（団体）
酒 寄 和 美	T シャツ・ポロシャツ	5 0 枚	市内福祉施設（団体）
			小山市社協（個人）
濱 野 光 夫	消 毒 液	多 数	小山市社協（団体）
匿名（個人）	手 ぬ ぐ い	2 6 本	小山市社協（団体）
千 葉 勝 雄	玄 米	6 0 k g	子育て家庭支援課（個人）
寒川地区小山市支援隊	玄 米	5 5 k g	子育て家庭支援課（個人）
匿名（個人）	マ ス ク（布）	多 数	小山市社協（団体）
匿名（個人）	食 品	3 5 0 g	小山市社協（個人）
田 部 井 千 恵 ・ 瑠	玄 米	3 0 k g	小山市社協（個人）
	食 品	3.66 kg	小山市社協（個人）
	洗 剤	多 数	市内福祉施設（団体）
下 着	多 数	市内福祉施設（団体）	
株 式 会 社 デ ン ソ ー テ ン	マ ス ク（不織布）	6,000 枚	健康増進課（団体）
小山市シルバー人材センター女性委員会	マ ス ク（布）	2 0 0 枚	払い出し先未定
匿名（個人）	野 菜 ジ ュ ー ス	2 4 本	子育て家庭支援課（団体）
匿名（個人）	お 菓 子	5 箱	子育て家庭支援課（団体）
	ジ ュ ー ス	3 0 缶	
匿名（個人）	食 品	9 0 0 g	小山市社協（個人）
匿名（個人）	紙 お む つ	多 数	市内福祉施設（団体）
	尿 取 り パ ッ ド		
匿名（個人）	介 護 用 品		
匿名（個人）	玄 米	3 0 k g	小山市社協（個人）
匿名（個人）	玄 米	5 k g	小山市社協（個人）
匿名（個人）	玄 米	3 0 k g	小山市社協（個人）
稲 葉 清 志	尿 取 り パ ッ ド	4 袋	市内福祉施設（団体）
匿名（個人）	紙 お む つ	4 袋	市内福祉施設（団体）
	尿 取 り パ ッ ド	7 袋	
寒川地区小山市支援隊	玄 米	5 5 k g	子育て家庭支援課（個人）

寄 付 内 容			払 出 先
寄 付 者	物 品 名	数 量	
匿 名 (個 人)	玄 米	3 0 k g	子育て家庭支援課(個人)
匿 名 (個 人)	紙 パ ン ツ	6 袋	市内福祉施設(団体)
	尿 取 り パ ッ ド	2 袋	
栃木県退職公務員連盟小山支部	タ オ ル ・ 手 め ぐ い	2 5 0 本	市内福祉施設(団体)
匿 名 (個 人)	紙 お む つ	多 数	市内福祉施設(団体)
匿 名 (個 人)	衣 服 下 着	多 数	小山市社協(個人)
			市内福祉施設(団体)
藤 野 ツ ヤ 子	マ ス ク (布)	2 1 枚	払い出し先未定
匿 名 (団 体)	お 米 (精 米 済 み)	1 0 k g	小山市社協(個人)
安 齊 佐 枝 子	紙 お む つ 介 護 用 品	多 数	市内福祉施設(団体)
匿 名 (個 人)	玄 米	3 0 k g	小山市社協(個人)
藤 野 ツ ヤ 子	マ ス ク (布)	2 8 枚	払い出し先未定
石 塚 邦 彦	紙 お む つ 介 護 用 品	多 数	市内福祉施設(団体)
藤 田 め ぐ み	車 椅 子	1 台	小山市社協(団体)
	シ ル バ ー カ ー	1 台	払い出し先未定
匿 名 (個 人)	4 点 杖	1 本	払い出し先未定
匿 名 (個 人)	紙 お む つ	多 数	市内福祉施設(団体)
匿 名 (個 人)	尿 取 り パ ッ ド	5 袋	市内福祉施設(団体)
匿 名 (個 人)	紙 お む つ	多 数	市内福祉施設(団体)
株 式 会 社 和 光	老 眼 鏡	5 0 個	小山市各出張所(団体)
			小山市社協(団体)
			市内福祉施設(団体)
匿 名 (個 人)	リクライニング式車椅子	1 台	小山市社協(団体)
匿 名 (個 人)	玄 米	6 0 k g	小山市社協(個人)
	お 米 (精 米 済 み)	2 0 k g	
匿 名 (個 人)	肌 着	多 数	市内福祉施設(団体)
			小山市社協(個人)
匿 名 (個 人)	夏 用 ・ 冬 用 シ ー ツ	7 枚	払い出し先未定
匿 名 (個 人)	玄 米	3 0 k g	小山市社協(個人)

寄 付 内 容			払 出 先
寄 付 者	物 品 名	数 量	
世界平和女性連合栃木第2連合会	マスク(不織布)	50枚	払い出し先未定
匿名(個人)	Yシャツ 尿取りパッド	多数	市内福祉施設(団体)
寒川地区小山市支援隊	玄米	55kg	子育て家庭支援課(個人)
匿名(個人)	紙おむつ(子ども用)	2袋	子育て家庭支援課(個人)
匿名(個人)	玄米	5kg	子育て家庭支援課(個人)
匿名(個人)	玄米	120kg	小山市社協(個人)
匿名(個人)	紙おむつ	5袋	市内福祉施設(団体)
匿名(個人)	玄米 もち米	150kg 15kg	小山市社協(個人)
匿名(個人)	タオル	200本	市内福祉施設(団体) 小山市社協(団体)
匿名(個人)	りんご	1箱	子育て家庭支援課(個人)
栃木ホンダ販売株式会社	車椅子	1台	市内福祉施設(団体)
匿名(個人)	お米(精米済み)	20kg	小山市社協(個人)
大内キヨ	アクリルたわし	120個	市内福祉施設(団体)
	毛糸の帽子	30個	小山市社協(団体)
フレアス在宅マッサージ小山施術所	マスク(不織布)	100枚	払い出し先未定
株式会社デンソーテン	車椅子	4台	市内福祉施設(団体)
匿名(個人)	切手	多数	小山市社協(団体)
東京電力パワーグリッド 東京電力常備 職員労働組合	タオル	64本	市内福祉施設(団体)
匿名(個人)	玄米	35kg	子育て家庭支援課(個人)
中地区小山市支援隊	玄米	55kg	子育て家庭支援課(個人)
匿名(個人)	切手	多数	小山市社協(団体)
匿名(個人)	食品	11.595kg	小山市社協(個人)
匿名(個人)	玄米	60kg	小山市社協(団体)
友愛サロン「さくら」	タオル	78本	市内福祉施設(団体)
匿名(団体)	車椅子	1台	市内福祉施設(団体)
匿名(個人)	玄米	30kg	小山市社協(個人)

寄 付 内 容			払 出 先
寄 付 者	物 品 名	数 量	
匿 名 (団 体)	マ ス ク (不 織 布)	2 6 6 枚	払 出 し 先 未 定
匿 名 (個 人)	肌 着	多 数	市 内 福 祉 施 設 (団 体)
匿 名 (個 人)	玄 米	3 0 k g	小 山 市 社 協 (個 人)
匿 名 (個 人)	洗 剤	1 箱	市 内 福 祉 施 設 (団 体)
匿 名 (個 人)	玄 米	1 5 k g	小 山 市 社 協 (個 人)
匿 名 (個 人)	毛 布 タ オ ル ケ ッ ト	多 数	小 山 市 社 協 (個 人)
匿 名 (個 人)	食 品	15.679 kg	小 山 市 社 協 (個 人)
中 地 区 小 山 市 支 援 隊	玄 米	1 8 0 k g	子 育 て 家 庭 支 援 課 (個 人)
野 村 稔	紙 お む つ	5 袋	市 内 福 祉 施 設 (団 体)
	尿 取 り パ ッ ド	5 袋	
株 式 会 社 ダイ ナ ム 小 山 喜 沢 店	食 品	2 k g	小 山 市 社 協 (個 人)
中 地 区 小 山 市 支 援 隊	玄 米	3 0 k g	子 育 て 家 庭 支 援 課 (個 人)

預託(延):個人62件、団体20件 計82件

払出(延):個人37件、団体45件 計82件 (うち個人・団体払出の重複9件)

払い出し先未定 計9件

令和2年度 地域福祉振興基金（どんぐり基金）寄付受入明細書

令和2年4月1日～令和3年3月31日 単位：円

No.	受入年月日	金額	寄付者
1	令和2年4月7日	2,261	ストレッチ体操教室
2	4月16日	100,000	三村桂子
3	4月17日	287,000	小山市民生委員児童委員協議会
4	4月20日	67	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
5	4月21日	60,000	株式会社峯翔不動産
6	4月27日	21,892	青木徳久
7	5月7日	10,000	大西登志雄
8	5月14日	50,000	株式会社マルエツ
9	5月20日	168	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
10	5月21日	10,000	子育て支援マスク製作チーム SYA
11	5月22日	100,000	川崎康雄
12	5月25日	50,000	佐藤よし子
13	5月26日	100,000	作道義明
14	5月26日	88,080	昭和電工ユニオン小山支部
15	6月3日	300,000	(株)トチネン
16	6月19日	235	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
17	7月8日	85,482	小山常陽会
18	7月20日	184	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
19	8月7日	19,246	青木徳久
20	8月20日	213	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
21	8月25日	6,000	イトーヨーカドー労働組合小山支部
22	9月11日	26,500	スマイルコンサート
23	9月18日	190	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
24	10月5日	46,742	山本二男
25	10月20日	280	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
26	10月28日	7,810	小林美喜
27	11月11日	17,031	青木徳久
28	11月20日	294	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
29	11月30日	100,000	両毛ヤクルト販売株式会社
30	12月8日	8,440	大関洋子
31	12月11日	2,242	小山市役所おやま思川ざくらマラソン大会部対抗競技会
32	12月16日	3,000	芳賀一祐
33	12月18日	243	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
34	12月21日	200,000	昭和電工株式会社小山事業所

35	12月22日	700,000	株式会社ヒタチ設備
36	12月24日	25,030	認定こども園早蕨幼稚園
37	12月25日	8,680	歌声喫茶「恋沼」
38	12月25日	4,000	芳賀一祐
39	令和3年1月6日	12,000	イトーヨーカドー労働組合小山支部
40	1月6日	46,551	小山市交響吹奏楽団
41	1月15日	17,861	つぼみキンダーガーデン
42	1月20日	258	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
43	2月2日	2,000	芳賀一祐
44	2月3日	2,000	芳賀一祐
45	2月15日	20,000	松本吉正
46	2月18日	30,000	国際ロータリー第2550地区第5グループ
47	2月19日	242	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
48	2月22日	200,000	(有)カーリサイクルホソノ
49	2月25日	12,053	(株)ベルクフォルテ間々田店
50	2月25日	6,109	美明会
51	3月3日	4,916	大谷公民館 女性学級
52	3月3日	1,807	大谷公民館 ふれあい学級
53	3月5日	17,442	小山市国際政策課
54	3月5日	11,622	なつかしの童謡会・おやま
55	3月8日	10,000	コマツ小山工場OB会グラウンドゴルフクラブ
56	3月8日	3,051	渡辺一
57	3月11日	7,780	小山市社会福祉協議会(募金箱)
58	3月17日	19,260	青木徳久
59	3月19日	508	社会福祉法人愛和会通所介護事業所スーパーデイみらい
60	3月25日	92,483	昭和電工ユニオン小山支部
合計		2,959,253	60件(延件数)

事業報告附属明細書

令和2年度事業報告においては、「事業の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。